

科目名 (英)	介護実習Ⅱ (Nursing Care Practice Ⅱ)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	①西村 弥生 / ②藤木 里奈
学科・コース	介護福祉士科	授業 形態	実習	総時間 (単位)	165	開講区分	前期
【授業の学習内容】							
<p>社会福祉現場における専門職としての専門知識や技術を具体的な経験を通して、実践の応用能力が習得できる。 個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を統合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力が修得できる。 施設利用者の生活の場を知り、利用者への理解を深め、利用者の思いを実現する学びとする。またICFの視点に基づき、利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる能力が持てる。利用者の状態や状況を把握した上での介護過程を展開することができる。 ※実務者経験:①医療機関に所属していた。主業務は内科及び急性期医療部門を担当していた。※取得資格:看護師 ②福祉施設等に所属していた。主業務は障害児者及び高齢者の介護業務を担当していた。※取得資格:介護福祉士</p>							
【到達目標】							
<p>施設利用者の生活の場を知ることができる。利用者への理解を深めることができる。利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる。ICFの視点に基づき、利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践することができる。利用者の状態や状況を把握した上での介護過程を展開することができる。</p>							

授業計画・内容

1回目	施設の役割を確認することができる①。
2回目	施設の役割を確認することができる②。
3回目	施設の役割を確認することができる③。
4回目	施設の役割を確認することができる④。
5回目	施設の役割を確認することができる⑤。
6回目	施設の役割を確認することができる⑥。
7回目	施設と利用者・家族・地域との連携関係を学ぶことができる①。
8回目	施設と利用者・家族・地域との連携関係を学ぶことができる②。
9回目	施設と利用者・家族・地域との連携関係を学ぶことができる③。
10回目	施設と利用者・家族・地域との連携関係を学ぶことができる④。
11回目	施設と利用者・家族・地域との連携関係を学ぶことができる⑤。
12回目	施設と利用者・家族・地域との連携関係を学ぶことができる⑥。
13回目	施設利用者の生活の場を知ることができる①。
14回目	施設利用者の生活の場を知ることができる②。
15回目	施設利用者の生活の場を知ることができる③。
16回目	施設利用者の生活の場を知ることができる④。
17回目	施設利用者の生活の場を知ることができる⑤。
18回目	施設利用者の生活の場を知ることができる⑥。
19回目	施設利用者の生活の場を知ることができる⑦。
20回目	施設利用者の生活の場を知ることができる⑧。
21回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる①。
22回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる②。
23回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる③。
24回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる④。
25回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる⑤。
26回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる⑥。

27回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる⑦。
28回目	利用者の思いを実現する具体的な方法論を知ることができる⑧。
29回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる①。
30回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる②。
31回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる③。
32回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる④。
33回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑤。
34回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑥。
35回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑦。
36回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑧。
37回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑨。
38回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑩。
39回目	利用者の状態や状況に対応できる介護技術を実践できる⑪。
40回目	利用者の生活の連続性について理解できる①。
41回目	利用者の生活の連続性について理解できる②。
42回目	利用者の生活の連続性について理解できる③。
43回目	利用者の生活の連続性について理解できる④。
44回目	利用者の生活の連続性について理解できる⑤。
45回目	利用者の生活の連続性について理解できる⑥。
46回目	利用者の生活の連続性について理解できる⑦。
47回目	利用者の生活の連続性について理解できる⑧。
48回目	利用者の生活の連続性について理解できる⑨。
49回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる①。
50回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる②。
51回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる③。
52回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる④。
53回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる⑤。
54回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる⑥。
55回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる⑦。
56回目	介護福祉士の役割を体験的に知ることができる⑧。
57回目	実習の日々の学びを記録することができる①。
58回目	実習の日々の学びを記録することができる②。
59回目	実習の日々の学びを記録することができる③。
60回目	実習の日々の学びを記録することができる④。
61回目	実習の日々の学びを記録することができる⑤。
62回目	実習の日々の学びを記録することができる⑥。
63回目	実習の日々の学びを記録することができる⑦。
64回目	実習の日々の学びを記録することができる⑧。

65回目	実習の日々の学びを記録することができる⑨。
66回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる①。
67回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる②。
68回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる③。
69回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる④。
70回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑤。
71回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑥。
72回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑦。
73回目	利用者を受容する姿勢と共感する姿勢が理解できる⑧。
74回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる①。
75回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる②。
76回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる③。
77回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる④。
78回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑤。
79回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑥。
80回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑦。
81回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑧。
82回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑨。
83回目	介護過程の実践的な展開方法が理解できる⑩。
準備学習 時間外学習	準備学習…「介護総合演習Ⅰ」の授業が実習の準備学習になるため、教科書の内容を熟読し、理解しておく必要があります。 時間外学習(復習)…実習中は、各科目の教科書や文献を熟読し、疑問に思ふ点についてはその都度、解決を図る行動を求めます。
評価方法	実習評価表、実習日誌の記載内容および巡回指導時の指導内容で評価します。成績の評価は、100点満点とする。
受講生への メッセージ	
【使用教科書・教材・参考書】	
教科書：新・介護福祉士養成講座⑩「介護総合演習・介護実習」（中央法規出版）	